



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN

WEEKLY BULLETIN

創 立 1969. 5. 30 会 長 山 本 英 樹
幹 事 三 宅 善 太 郎 会 報 委 員 長 奥 田 秀 行



ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ

NO. 2349

2017-12-1

事務所 〒542-0012 大阪市中央区
谷町9丁目1番22号NK谷町ビル407号
TEL(06)6796-9898 FAX(06)6796-9899
http://www.osaka-johnan-rc.org/
E-mail:johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場 シェラトン都ホテル大阪 上本町6-1-55
TEL. (06)6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会 12月1日(第1例会)

●例会時間・場所変更

例会・年次総会 17:30～17:50
年末家族懇親会 18:00～20:30
シェラトン都ホテル大阪 4階 大和の間

●理事会 17:00～17:20

シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

次週のお知らせ 12月8日(第2例会)

●新会員自己紹介

鳥居正彦会員
金山信利会員

●次年度理事会 11:20～12:10

シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ

●食膳 <フランス料理 ワンプレート>

次々週のお知らせ 12月15日(第3例会)

●卓話「監査役業務について」

中辻康裕会員

先週の記事 11月24日(第4例会)

●出席報告

出席会員 36名 (内免除会員 9名)
会員総数 50名 (同上 16名)
ゲスト 2名
ビジター 2名
計 40名
ホームクラブ出席率 83.72%

11月10日(第2例会) 補正出席率 100% (MU 5名)

●ゲスト&ビジター (敬称略)

石黒和義・中野昌之 (卓話者)
奥田勝巳 (大阪西)
テチアナ・セゾネンコ (米山奨学生)

◆会長の時間◆

地区より、茨木ロータリークラブ会員、簡 仁一氏が2020～2021年度国際ロータリー第2660地区ガバナー候補者に指名されたと通知がありましたのでご報告いたします。

国際ロータリー細則第14条の規定によると、地区はノミネーを、ガバナーとして就任する日の直前24カ月以上36カ月以内に選出し、選出されたロータリアンは、「ガバナーノミネー・デジグネート」という肩書を担い、ガバナーに就任する2年前の7月1日にガバナーノミネーの肩書を担うものとされています。

また、ガバナーノミネーが選挙されるのは、国際協議会で研修を受けるロータリー年度の直前ロータリー年度に開催されるRI国際大会であり、選出されたノミネーは、ガバナーエレクトとして1年の任期を務めてから、選挙後の暦年の7月1日にガバナーに就任するものとされています。

◆幹事報告◆

10/27に開催しました、第2回クラブ戦略計画委員会の内容についてご報告致します。

1. 会員増強の件、井上会員増強委員長が中心となり、各会員に個別面談にて入会候補者を推薦して頂くようお願いしていく。
2. クラブ細則の件、規定・情報委員会の境委員長が中心となり、次年度の年次総会に間に合うように、当クラブの現状に見合ったクラブ細則の案を作成していく。

◆委員会報告◆

親睦・出席委員長 梅崎道夫
来週12月1日(金)は、年末家族懇親会です。楽しいイベントとおいしいお食事、盛り沢山の豪華景品も用意しております。ご出席よろしくお願ひ致します。

前年度幹事 村上泰啓
2016-2017の年次報告書が出来ましたので、ポストしてありますのでご覧ください。

12月は疾病予防と治療月間です!!

〈4つのテスト〉言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか

◆ 3分間スピーチ ◆



米山奨学生
テチアナ・セゾネンコさん
ミセルの形成に伴い、競合凝集
が起こる。凝集は多くの生物系で
起こることが知られている。タンパ
ク質凝集が製薬産業にとって重大

な問題であることはよく知られている。集約を元に戻すか最小化することが重要です。これは簡単ではありませんが、集計の予測と制御は科学者の課題です。

また、システムの安定性を監視することも非常に重要です。両親媒性ポリマーの場合、安定性は、反発性頭部基の力と疎水基の引力と溶液中の分子間の相互作用のバランスによって決定される。

同時に、微量元素イオンの存在、pH、塩濃度、研究の標準温度とは異なる体温などの多くの要因の影響を分離することによって、会合および凝集のプロセスを考慮することができない。体内に存在するCa²⁺およびMg²⁺イオンの錯体化特性は公知である。高塩濃度で溶液からのポリマーを塩析する効果の事実が確立される。

Boraxは私のサンプルに適した溶媒です。NaClよりもずっと優れています。

ボラックスの濃度を変えました。ボラックス濃度のわずかな変化でも、ポリマー溶液中の立体配座の変化が存在することがわかった。

私は12月に研究室で研究レポートを持っています。だから私は懸命に働いている。

また、私は論文を出版するための資料を完成させたい。締め切りは12月30日です。

今のところ、それがすべてだ。(原文のまま)

卓話

11月24日 <第4例会>

「人生100年時代を迎えて」



生涯現役(株) 代表取締役
石黒和義氏
日本は高齢化最先進国のフロン
トランナーです。日本の動向は
世界から注目されており、これか
らの未来社会創造に成功したモ
デル国家となれるか、国家の蹉跌

となってしまうか。これはもはや国や行政だけでなく若者を含めた前世代にとっての課題であり、その正否は私たち今後の取り組み如何にかかっていると言っても過言ではないでしょう。

人生は長い。誰もが100歳を迎える可能性が出て来ましたが、明るい夢ばかりではなく将来に対する漠

然とした不安(健康、介護、お金…)があるのも確かです。「より良く生きる」ためのライフプランづくりは可能性追求であり、若いうちから自分で考えて準備しておきたい。そのためには正しい健康リテラシーの向上が求められ、社会のリーダーには基礎知識としてジェロントロジー(高齢社会の総合研究の学問)を身につけて欲しいところです。日本老年学会の提唱する新概念であるフレイル(虚弱)の予防は、栄養・身体活動・社会参加の3本の柱に注目しています。若年期の若死を避けるための生活習慣の改善、いわゆるメタボ対応は広く実施されていますが、加齢にともなう虚弱化に対するフレイル予防は、これから取り組むべき課題のひとつです。ひとりでも多くの人が健康寿命の延伸をほかり、社会から支えられる側から支える側にまわること。それが子々孫々のためでもあり、お世話になった社会への恩返しではないでしょうか。

Enjoy Aging! 人生は楽しみたいものです。

生涯現役(株)は、厚労省の元事務次官・東京大学高齢社会総合研究機構の辻先生のバックアップをいただいて3年前に起業。法人会員向けにビジネスチャンスを探る会議を開催し、個人会員には社会参加を促進するプログラムを提供。今秋から、ジェロントロジーの啓蒙活動の一環として、eラーニング(総論、個人、社会編)を作成しその普及に努めています。

にここ箱

11月24日(第4例会)

- 石黒様を迎えて。 上会員
- 月曜から昨日まで上海出張でした。 製造会社の10周年式。建設中に新工場視察。いつもながら中国はストレスのかかる旅でした。 中尾会員
- 会社が100周年を迎え社長を息子に譲りました。11/15から会長です。 大原会員
- 村上(泰)さん、写真の会では有難うございました。 浅井会員
- シェラトン都ホテル大阪「おせち」のパンフレットをポストいたしました。 よろしく願い申し上げます。 鳥居会員
- 東京大崎RCよりバナーをいただきましたのでご報告します。 小林会員
- 先週の早口言葉のニコニコさせていただきます。南賀さん、次回はもう少し易しいお題お願いします。 武田会員
- 早退 2件

11月にここ合計 116,000円
ハット合計 35,000円

(編集担当 山本(智)・大原)

会員増強にご協力を!!